

富山県普通会計バランスシート

<作成の目的>

現行の会計方式は、1会計年度の資金の流れ(フロー)を中心とし、資産や負債などのストックに関する情報がわかりにくくなっているため、減価償却等の企業会計手法を用い、本県の資産の状況や、資産形成の財源である負債、正味資産の状況等を把握するものです。

<作成の基準>

このバランスシートは、原則として、総務省が平成13年3月に公表した「地方公共団体の総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」に基づき、下記のとおり作成しています。

◇対象会計 普通会計

◇作成の基準日 平成17年度末(平成18年3月31日)

◇基礎数値 総務省の基準に基づいた各年度の決算額
(全国的に統計が整備された昭和44年度以降のものを使用)

◇資産評価の方法 昭和44年度以降に取得した道路、学校、庁舎等の固定資産について、取得価格を基に、耐用年数ごとに定額法により減価償却を実施

<主な資産の減価償却期間>

道路15年、河川50年、農業農村基盤20年、学校50年など。土地については、昭和44年度以降に取得したものについて取得価格で計上。

◇退職給与引当金の

計上方法 平成17年度末に全職員が退職した場合の退職手当総額を計上

<バランスシートによる分析>

◇本県の資産・負債等の状況

県の純資産(正味資産)は、1兆3,626億円

- 本県の平成18年3月31日現在の資産は、2兆5,170億円で、その内訳は、「有形固定資産」が2兆3,399億円(構成比92.9%)、「投資等」が1,383億円(同5.5%)、「流動資産」が388億円(同1.5%)となっており、有形固定資産の割合が高くなっています。平成16年度末現在の資産合計の2兆5,420億円に比べ、250億円の減少となっています。その内訳は、公共事業等の抑制により、有形固定資産が222億円、流動資産が36億円の減少となっています。

有形固定資産の内訳では、道路・河川などの土木費69.4%、農業農村整備・治山などの農林水産業費18.4%、高等学校などの教育費7.7%となっています。

- また負債は、1兆1,544億円で、昨年と比べ115億円の増加となっています。このうち県債残高は、固定負債の「県債」と流動負債の「県債翌年度償還予定額」を加えた合計額で、9,909億円となっています。

なお、退職給与引当金は1,635億円となっています。

- 資産から負債を差し引いた正味資産は、1兆3,626億円となっています。

◇資産と県債の関係

県債の実質残高は、3,982億円

県債の実質残高は有形固定資産額に対し、2割未満

- 県債残高は9,909億円ですが、このうち、地方交付税や貸付金の償還金が充てられる県債の残高が5,927億円(注1)あることから、実質残高は3,982億円(注2)となっています。

注1 固定負債の「交付税措置等のある県債」5,462億円と流動負債の「交付税措置等のある県債」465億円の合計額

注2 固定負債の「その他の県債」3,708億円と流動負債の「その他の県債」274億円の合計額

- また、有形固定資産と県債の関係をみると、有形固定資産額2兆3,399億円に対して、将来の実質的な負担となる県債の実質残高3,982億円の割合は17.0%となっています。

富山県普通会計バランスシート

(平成18年3月31日現在)

(単位:百万円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1 有形固定資産		1 固定負債	
(1) 総務費	22,776	(1) 県債	
(2) 民生費	14,922	①交付税措置等のある県債	546,251
(3) 衛生費	15,218	②その他の県債	370,812
(4) 労働費	4,281	県債計	917,063
(5) 農林水産業費	430,125	(2) 退職給与引当金※	163,488
(6) 商工費	17,493		
(7) 土木費	1,624,817	固定負債合計	1,080,551
(8) 警察費	30,133		
(9) 教育費	180,091	2 流動負債	
(10) その他	77	県債翌年度償還予定額	
計	2,339,933	①交付税措置等のある県債	46,462
(うち土地)	466,995)	②その他の県債	27,383
		県債翌年度償還予定額計	73,845
有形固定資産合計	2,339,933	流動負債合計	73,845
2 投資等		負債合計	1,154,396
(1) 投資及び出資金	52,724		
(2) 貸付金	55,924	[正味資産の部]	
(3) 基金		1 国庫支出金	630,229
①特定目的基金	9,802	2 市町村分担金等	75,094
②土地開発基金	9,353	3 一般財源等	657,269
③定額運用基金	10,466		
基金計	29,621	正味資産合計	1,362,592
投資等合計	138,269		
3 流動資産			
(1) 現金・預金			
①財政調整基金	2,153		
②県債管理基金	17,287		
③歳計現金	14,596		
現金・預金計	34,036		
(2) 未収金			
①地方税	2,746		
②その他	2,004		
未収金計	4,750		
流動資産合計	38,786		
資産合計	2,516,988	負債・正味資産合計	2,516,988

(参考)

○ 翌年度以降の支払予定額(債務負担行為の額)

・ 有形固定資産取得に充てるものの額 8,696 百万円

・ 農林水産関係や中小企業融資の利子補給等に充てるものの額 9,700 百万円

○ 貸付金のうち単年度償還方式による額 32,249 百万円

※ 平成17年度末に全職員が退職した場合の退職手当総額を計上したものであり、実際に積み立てられているものではありません。